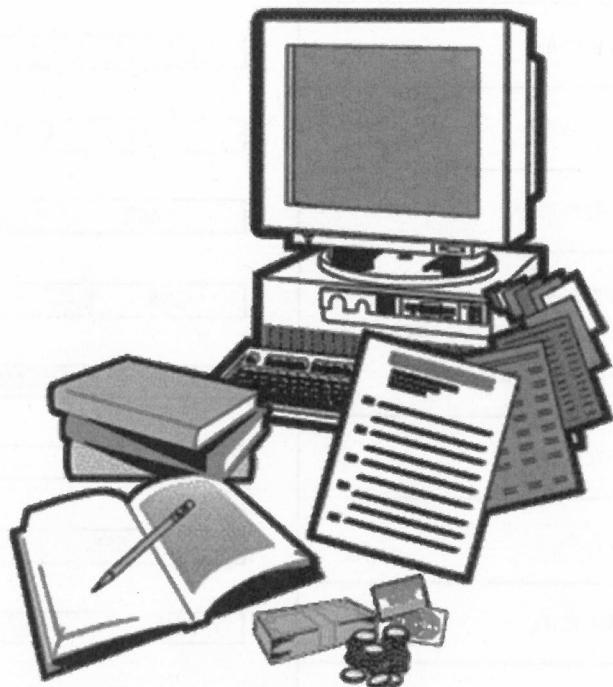
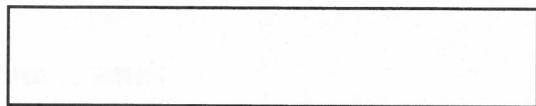


令和6年度

シラバス



商業科2年



入学年度		令和5年度				備考
学年		1	2	3	計	
教科	科目	標準単位				
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語 ◎2	2		2	
		言語文化 ◎2	2		2	
	地理歴史	論理国語 4		2	2	4
		文学国語 4		2	2	4
	地理歴史	地理総合 ◎2	2		2	
		歴史総合 ◎2	2		2	
	公民	公共 ◎2		2		2
		政治・経済 2			2	2
	数学	数学I ◎3	4			4
		数学II 4		2	2	4
	理科	科学と人間生活 ◎2		3		3
		化学基礎 ○2			▲2	▲2
		生物基礎 ○2			▲2	▲2
	保健体育	体育 ◎7~8	3	2	3	8
		保健 ◎2	1	1		2
芸術	音楽I ○2	□2			□2	
	美術I ○2	□2			□2	
	書道I ○2	□2			□2	
	外国語	英語コミュニケーションI ◎3	2	2		4
		論理・表現I 2			2	2
家庭	家庭総合 ◎4		2	2	4	
情報	情報I 2					
科目単位数計		20	18	17	55	「情報I」は 「情報処理」で代替
主として専門学科において開設される各教科・科目	商業	ビジネス基礎 △2~4	3			3
		課題研究 △2~4			3	3
		総合実践 2~4			3	3
		マーケティング 2~4		4		4
		観光ビジネス 2~4			2	2
		簿記 2~4	3			3
		財務会計I 2~4		☆4		☆4
		原価計算 2~4			■4	■4
		情報処理 ◎2~4	2	2		4
		ソフトウェア活用 2~4		☆4		☆4
総探		ネットワーク活用 2~4			■4	■4
科目単位数計		8	10	12	30	
福山みらい創業塾 ◎3~6		2	2		4	
キャリアプラン				1	1	
合計		30	30	30	90	
特活	ホームルーム活動		1	1	1	3
週当たり総時数		31	31	31	93	

教 科	国語	科 目 名	論理国語
-----	----	-------	------

知識・技能	到達目標	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。			
	場 面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	定期考查	定期考查	授業の内容を十分理解している。	授業の内容を理解している。	授業の内容を理解していない。
	授業	小テスト	十分に理解している。	理解している。	理解していない。
思考・判断・表現	到達目標	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。			
	場 面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	定期考查	定期考查	自分の考えが深く記せ、表現豊かに記せている。	自分の考えを記したり表現ができたりしている。	自分の考えを記したり表現ができたりしていない。
	授業	ノート	自分の考えが深く記せ、表現豊かに記せている。	自分の考えを記したり表現ができたりしている。	自分の考えを記したり表現ができたりしていない。
	授業	ワークシート	自分の考えが深く記せ、表現豊かに記せている。	自分の考えを記したり表現ができたりしている。	自分の考えを記したり表現ができたりしていない。
	授業	作文 レポート	自分の考えが深く記せ、表現豊かに記せている。	自分の考えを記したり表現ができたりしている。	自分の考えを記したり表現ができたりしていない。
	授業	発表	自分の考えを深く、表現豊かに発表している。	ある程度の長さで、自分の考えを発表できている。	自分の考えを発表できない。著しく短い発表をしている。
主体的に学習に取り組む態度	到達目標	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
	場 面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	授業	ノート	板書事項をきちんと写し、自分なりにまとめている。	板書事項を写している。	板書事項を写していない。
	授業	振り返りシート	単元の学習内容を振り返り、改善点を見いだしている。	単元の学習内容を振り返りできている。	単元の学習内容を振り返りできていない。
	提出物	課題 提出物	完全に提出ができる、内容もきちんと記せている。	提出ができる、内容もある程度記せている。	提出ができない。内容が記せていない。
	授業	発表	発表内容を自らのものと捉え、次への発表へ活かそうとしている。	発表内容を自らのものと捉えられている。	発表内容を自身のものと捉えられていない。

鹿児島県立 福山高等学校 商業科		教科 科目名	国語 「文学国語」	履修学年 単位数	2学年 2単位	評価の観点									
学習の目標		言葉による見方・考え方を働きかせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようとする。 (2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				考 査 範 囲	知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度						
教材		使用教科書	大修館書店 新編文学国語												
学習の内容	1学期	4月	明日をひらく	・筆者が大切だと考えていることをし、その考えと比較しながら自分の生き方について考えを深める。				1学 期 中 間	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
		5月	小説を楽しむ	・場面の設定のしかたをとおして登場人物の心情を考える。 ・情景描写の効果を考えながら読む。				1学 期 期 末	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
		6月	古典の世界	・話のおもしろさと教訓をとらえる。				2学 期 中 間	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
		7月	詩を味わう	・詩に表された作者の心情を読み味わう。 ・詩のさまざまな表現と、その効果について考える。				2学 期 期 末	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	2学期	9月	名作を読む	・登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。 ・漢文訓読調の文章の魅力を味わう。				学 年 末	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
		10月	古典の世界2	・主人公の心情やその変化を読み取る。				学 年 末	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
		11月	社会に生きる	・小説を読む楽しさを味わう。 ・話に込められた寓意を読み取り、考えを深める。				学 年 末	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
		12月	表現を味わう	・さまざまな文章を読み、構成や表現の工夫を読み取る。				学 年 末	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
学習の方法		(1)しっかりと活動に参加することが大事です。 (2)提出物は期限を守り、必ず提出しましょう。 (3)ノートはしっかりと取り、その上で自分でわかりやすいようにまとめる工夫をしましょう。													
評価方法		(1)知識・技能 (定期考査・小テスト・ワークシート) (2)思考・判断・表現 (定期考査・ノート・ワークシート・作文・発表) (3)主体的に学習に取り組む態度(授業への取り組み態度・ノート・振り返りシート・課題・提出物・発表单元ごとに、到達度に応じて(1)～(3)にA, B, Cの評価を行います。 A(十分満足できる) B(おおむね満足できる) C(努力を要する)													
備考欄		週末課題も成績に考慮します。きちんと取り組みましょう。 国語力は全ての教科の基本です。しっかりと取り組み力をつけましょう。													

教 科	国語	科 目 名	文学国語
-----	----	-------	------

知識・技能	到達目標	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。			
	場 面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	定期考查	定期考查	授業の内容を十分理解している。	授業の内容を理解している。	授業の内容を理解していない。
	授業	小テスト	十分に理解している。	理解している。	理解していない。
	授業	ワークシート	きちんとワークシートが記せている。	やや空欄はあるが、ワークシートが記せている。	ほとんどが空欄か、提出ができない。
思考・判断・表現	到達目標	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。			
	場 面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	定期考查	定期考查	自分の考えが深く記せ、表現豊かに記せている。	自分の考えを記したり表現ができたりしている。	自分の考えを記したり表現ができたりしていない。
	授業	ノート	自分の考えが深く記せ、表現豊かに記せている。	自分の考えを記したり表現ができたりしている。	自分の考えを記したり表現ができたりしていない。
	授業	ワークシート	自分の考えが深く記せ、表現豊かに記せている。	自分の考えを記したり表現ができたりしている。	自分の考えを記したり表現ができたりしていない。
	授業	作文 レポート	自分の考えが深く記せ、表現豊かに記せている。	自分の考えを記したり表現ができたりしている。	自分の考えを記したり表現ができたりしていない。
主体的に学習に取り組む態度	到達目標	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
	場 面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	授業	ノート	板書事項をきちんと写し、自分なりにまとめている。	板書事項を写している。	板書事項を写していない。
	授業	振り返りシート	単元の学習内容を振り返り、改善点を見いただしている。	単元の学習内容を振り返りできている。	単元の学習内容を振り返りできていない。
	提出物	課題 提出物	完全に提出ができ、内容もきちんと記せている。	提出ができ、内容もある程度記せている。	提出ができない。内容が記せていない。
	授業	発表	発表内容を自らのものと捉え、次への発表へ活かそうとしている。	発表内容を自らのものと捉えられている。	発表内容を自身のものと捉えられていない。

教科	公民	科目名	公共		
知識・技能	到達目標	現実社会の諸課題の解決に向け、自己と社会との関わりを踏まえ、社会に参画する主体として自立することや、他者と協働して、よりよい社会を形成していく力を養う。また、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会を形成する公民としての資質・能力を育成する。			
	場面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
思考・判断・表現	板書をしっかりと、授業用ノートをきれいにまとめることができる。	授業ノート提出 毎時のノート確認	板書をきれいにまとめることができた。	色使いができず、煩雑であり、まとめていない箇所があった。	全く板書をとらなかつた（欠席も含む）。
	説明を聞いて、授業の内容を正しくと理解することができる。	定期考查（小テスト）	授業内容を正しく理解ことができた。	内容の理解に不足していた、内容がよく分からなかった。	全く理解できなかつた（欠席も含む）。
主体的に学習に取り組む態度	到達目標	・歴史的事象やそれらの因果関係について見通しをもって仮説を設定し、考察、まとめなどを行い、得られた結果を分析して解釈し、根拠を基に導き出した考えを表現できる。			
	場面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
主体的に学習に取り組む態度	グループワークに積極的に参加し、演習ノートを協力してまとめられる。	毎時間のコミュニケーションによるアウトプット、定期考查	積極的にグループワークに参加し、演習ノートを完成できた。	あまりグループワークに参加できず、演習ノートが不完全であった。	全くグループワークに参加できなかつた。
	グループワークに積極的に参加し、歴史的因果関係や諸課題などについて話し合える。	毎時間のアウトプットとプレゼンテーション	グループワークに参加し、諸課題について課題解決が十分に図れた。	あまりグループワークに参加できず、課題解決や発表が不完全であった。	
主体的に学習に取り組む態度	到達目標	・歴史的事象やそれらの因果関係について主体的にかかわり、それらを探究しようとするとともに、探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしている。			
	場面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
主体的に学習に取り組む態度	今何をすべき時間なのかを考え、主体的に行動することができる。	毎時の授業態度（定期考查）	授業態度が良好で、自分が何をすべきかを明確な目標をしっかりと持って取り組んでいた。	授業態度が良好で、自分が何をすべきかを明確な目標を持って取り組んでいた。	授業態度が悪く、集中できていなかつた（参加できなかつた）。
	提出すべき課題を期限内にきちんと提出することができる。	課題、ノートなどの提出	提出物が良好で、期限をしっかりと守り自主的に取り組んでいた。	提出に不足があり、期限に迫られて（遅れて）提出していた。	全く提出できなかつた。

鹿児島県立 福山高等学校 商業科	教科 科目名	数学 数学II		履修学年 単位数	二学年 2単位	評価の観点		
		知識	思考・判断・表現					
学習の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈し、表現・処理する技能を身につける。また、数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え根拠を示して判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返り、評価改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。							
教材	使用教科書 新数学II(東京書籍)		知識	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
学習の内容	1学期	4月 式の計算	・3次式の乗法公式と因数分解、二項定理、分数式の四則演算について学習する。		中間 考査	<input type="radio"/>		
		5月 2次方程式	・複素数、複素数の計算、2次方程式の解、解と係数の関係について学習する。		期末 考査	<input type="radio"/>		
		6月 高次方程式	・多項式のわり算、因数定理、高次方程式について学習する。		中間 考査	<input type="radio"/>		
		7月 式と証明	・等式の証明、不等式の証明について学習する。		期末 考査	<input type="radio"/>		
	2学期	9月 座標と直線の方程式	・直線上や平面上の点の座標、直線の方程式、2直線の関係について学習する。		中間 考査	<input type="radio"/>		
		10月			期末 考査	<input type="radio"/>		
		11月 円と方程式	・円の方程式や円と直線について学習する。		中間 考査	<input type="radio"/>		
		12月 軌跡と領域	・軌跡や不等式の表す領域について学習する。		期末 考査	<input type="radio"/>		
	3学期	1月 三角関数	・一般角、三角関数、加法定理、弧度法について学習する。		学年末 考査	<input type="radio"/>		
学習の方法	(1) 板書事項をノートにとり、自分なりにまとめましょう。 (2) 授業の目的をしっかりと理解し、疑問に思ったことはメモしたり、質問したりしましょう。 (3) 授業の内容を理解し、身の回りのことと関連づけて探究しましょう。 (4) 提出物は期限を守り、必ず提出しましょう。 (5) 授業を振り返り、次回へいかしましょう。							
予習・復習 ノート等								
評価方法	(1) 知識・技能(授業態度、学習課題への取組、考查等) (2) 思考・判断・表現(授業態度、学習課題への取組、考查等) (3) 主体的に学習に取り組む態度(授業態度、学習課題への取組、考查等) 単元ごとに、到達度に応じて(1)～(3)にA、B、Cの評価を行います。 A(十分満足できる) B(おおむね満足できる) C(努力を要する)							
備考欄								

教科	数学	科目名	数学Ⅱ
----	----	-----	-----

知識・技能	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 事象を数学化したり、数学的に解決することができる。 事象を数学的な自分の考え方によって表現したり、処理する技能を身につけている。 			
	場面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足でき)	C (努力を要する)
	板書事項	ノート	内容を写し、自分なりにまとめることができた	内容を写すことができた	全く板書事項を写さなかつた(欠席を含む)
	授業の内容	小テスト 定期考査	授業の内容を正しく理解できた	授業の内容をおおむね理解できた	全く理解できなかつた
思考・判断・表現	課題の提出	週末課題 長期休業課題	課題の内容を正しく理解し、提出できた	課題の提出ができた	課題の提出ができなかつた
	到達目標	数学的な事象について、どのような考え方が必要か自分で思考して、用いる定理や公式を判断し、実際に解決できる。			
	場面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足でき)	C (努力を要する)
主体的に学習に取り組む態度	授業の目的	ノート 小テスト 定期考査	授業の目的を理解し、それを発表できる	授業の目的を理解できた	全く理解できなかつた
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し、数学を活用しようとしている。 自分の答えが出るまで粘り強く考え方根拠を示して判断しようとしている。 			
	場面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足でき)	C (努力を要する)
主体的に学習に取り組む態度	授業の内容から疑問に思うこと、その答え	ノート	授業で詳しく扱わなかつた内容に関して触れ、自分なりに分かりやすく表現をしている	授業で扱った内容を分かりやすく表現していた	特に独自性はなかつた
	心がけたいことと授業の振り返り	振り返りノート	次回以降心がけたいことを今回の反省とともに考えることができる	今回の授業の振り返りができた	振り返りが不十分である

教 科	理 科	科 目 名	科学と人間生活
-----	-----	-------	---------

知識・技能	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 			
	場 面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	板書事項	ノート	内容を写し、自分なりにまとめることができた	内容を写すことができた	全く板書事項を写さなかつた(欠席を含む)
	授業の内容	小テスト 定期考査	授業の内容を正しく理解できた	授業の内容をおおむね理解できた	全く理解できなかつた
	実験の手順	レポート	手順をフローチャートや絵などでまとめることができた	手順をおおむね理解できた	全く理解できなかつた
	実験結果の記録	レポート	実験結果を記録し、考察したことを整理できる	実験結果を記録できた	全く記録しなかつた
思考・判断・表現	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し、観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、根拠を基に導き出した考えを表現できる。 			
	場 面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	授業の目的	ノート 発表 小テスト 定期考査	授業の目的を理解し、それを発表できる	授業の目的を理解できた	全く理解できなかつた
	課題や仮説の設定	レポート 発表	課題や仮説を設定し、発表できる	課題や仮説を設定できる	課題や仮説を設定できない
	実験結果の考察	レポート 発表	実験結果の考察を行い、さらに法則へと導くことができる	実験結果を考察できた	全く考察できなかつた
主体的に学習に取り組む態度	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象に主体的にかかわり、それらを科学的に探究しようとするとともに、探究の過程などを通じて獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしている。 			
	場 面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	授業の内容から疑問に思うこと、その答え	ノート	授業で詳しく扱わなかつた内容に関して触れ、自分なりに分かりやすく図などで表現をしている	授業で扱った内容を分かりやすく図で表現していた	特に独自性はなかつた
	心がけたいことと授業の振り返り	レポート 振り返りシート	次回以降心がけたいことを今回の反省をもとに考えることができる	今回の授業の振り返りができた	振り返りが不十分である
	グループ学習	ノート レポート 発表	積極的に活動した	意見を聞くことができた	活動に参加しなかつた

教科	保健体育	科目名	体育		
知識・技能	到達目標	運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする			
	項目	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
思考・判断・表現	運動の多様性や体力の必要性について理解する	レポート小テスト	体の動かし方や用具の操作方法、運動の実践や生涯スポーツにつながる概念や法則などを理解している。	体の動かし方や用具の操作方法、運動の法則などを理解している。	体の動かし方や用具の操作方法、運動の法則などを理解していない。
	各種運動の技能を身に付ける	スキルテスト	各領域の特性や魅力に応じた、各領域における技能や攻防の様相、動きの様相を実践できている。	各領域の特性や魅力に応じた動きの様相を実践できている。	各領域の特性や魅力に応じた動きの様相を実践できていない。
主体的に学習に取り組む態度	到達目標	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。			
	項目	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
主体的に学習に取り組む態度	運動を継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考する	レポート学習カード	各領域における学習課題に応じて、これまでに学習した内容を学習場面に適用し、自己や仲間の課題に応じた解決ができる。	各領域における学習課題に応じて、自己や仲間の課題に応じた解決ができる。	各領域における学習課題に応じて、自己や仲間の課題に応じた解決ができる。
	課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う	発表話し合い活動	根拠を示したり他者に配慮したりしながら、言葉や動作などで即座に表したり、図や文章及び映像等を用いて筋道を立てて伝えることができる	他者に配慮したり、言葉や動作などで表したり、図や文章及び映像等を用いて伝えることができる。	他者に配慮したり、言葉や動作などで表したり、図や文章及び映像等を用いて伝えることができない。
主体的に学習に取り組む態度	到達目標	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己的責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。			
	項目	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
主体的に学習に取り組む態度	公正、協力、責任、参画、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てる	観察レポート	運動を継続することの意義などを理解し、取り組むべき課題の解決の過程を示し、主体的に仲間との学習を進めることができる。	取り組むべき課題の解決の過程を示し、仲間との学習を進めることができる。	取り組むべき課題の解決の過程を示し、仲間との学習を進めることができない。
	健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う	観察ノート	段階的に運動をしたり、用具や場所の安全を確認し、環境の変化などを予見して危険を回避することができる。	用具や場所の安全を確認し、危険を回避することができる。	用具や場所の安全を確認し、危険を回避することができない。

教 科	保健体育	科 目 名	保健		
到達目標		個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。			
知識・技能	項目	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動	考查レポート	生涯を通じる健康の各単元において、キーワードを理解し、社会的および環境への対策等を関連させることができる。	生涯を通じる健康の各単元において、キーワードを理解している。	生涯を通じる健康の各単元において、キーワードを理解できていない。
到達目標		健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。			
思考・判断・表現	項目	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	社会環境づくり自、健康管理、安全管理、労働に関する社会資源などを適切に活用	考查レポート	事象や情報から課題を発見し、疾病リスク軽減、生活の質の向上などと、解決方法を関連付け、適切な方法を選択し、説明することができる。	事象や情報から課題を発見し、解決方法を考え、適切な方法を選択し、説明することができる。	事象や情報から課題を発見し、解決方法を考え、適切な方法を選択し、説明することができない。
到達目標		生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			
主体的に学習に取り組む態度	項目	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	自他の健康やそれを支える環境づくりに関心をもち、生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す	ノート授業態度	各単元の学習に関心をもち、キーワードや意味をまとめたり、話し合い活動等に積極的に参加している。	各単元の学習に関心をもち、キーワードや意味をまとめている。	各単元の学習に関心をもち、キーワードや意味をまとめていない。

鹿児島県立 福山高等学校 商業科	教科 科目名	外国語(英語)	履修学年 単位数	2学年 2単位	評価の観点			
		英語コミュニケーション I			知 識	思 考	主体的に学習に取り組む態度	
学習の目標		<ul style="list-style-type: none"> 日常的・社会的な話題について、話される速さや、使用する語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、 <ol style="list-style-type: none"> 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。 必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、 <ol style="list-style-type: none"> 必要な情報を読み取り、聞き手の意図を把握することができる。 必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、 <ol style="list-style-type: none"> 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができる。 聞いたら読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、 <ol style="list-style-type: none"> 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 聞いたら読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。 聞いたら読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。 	考査範囲	知識	思考	主体的に学習に取り組む態度		
教材		使用教科書<開隆堂>Amity English Communication I 副教材<開隆堂> Amity English Communication I ワークブック 副教材<旺文社>英単語ターゲット1200【改訂版】 辞書<大修館> ベーシックジーニアス英和辞典			能	表現	現度	
学習の内容	1 学期	4月	Lesson 5 The History of Chocolate(動名詞)	大切な人に贈りたいと思う贈り物について説明する。チョコレートの歴史について話し合う。	1 学期中間考査	○	○	○
		5月	Lesson 5 The History of Chocolate(動名詞)	大切な人に贈りたいと思う贈り物について説明する。チョコレートの歴史について話し合う。	1 学期中間考査	○	○	○
		6月	Lesson 6 Our School(比較)	自身の学校の特徴について紹介する。高校生活でしてみたいことについて話し合う。	1 学期末考査	○	○	○
		7月	Lesson 6 Our School(比較)	自身の学校の特徴について紹介する。高校生活でしてみたいことについて話し合う。	1 学期末考査	○	○	○
		9月	Lesson 7 Serendipity(現在完了)	どんなセレンディピティがあるか調べ、発表する。身近にあるセレンディピティについて話し合う。	2 学期中間考査	○	○	○
	2 学期	10月	Lesson 7 Serendipity(現在完了)	どんなセレンディピティがあるか調べ、発表する。身近にあるセレンディピティについて話し合う。	2 学期中間考査	○	○	○
		11月	Lesson 8 Sapeurs(受動態)	自分の宝物について紹介する。サープルの人々の考え方について話し合う。	2 学期末考査	○	○	○
		12月	Lesson 8 Sapeurs(受動態)	自分の宝物について紹介する。サープルの人々の考え方について話し合う。	2 学期末考査	○	○	○
		1月	Lesson 9 Special Makeup Effects(現在分詞／過去分詞)	好きな映画やテレビ番組について紹介する。世界で活躍するカズ・ヒロさんの生き方について話し合う。	学年末考査	○	○	○
		2月	Lesson 9 Special Makeup Effects(現在分詞／過去分詞)	好きな映画やテレビ番組について紹介する。世界で活躍するカズ・ヒロさんの生き方について話し合う。	学年末考査	○	○	○
	3 学期	3月	Lesson 10 Clear Water (関係代名詞)	自分の生活を振り返り、水分の摂り方について説明する。小田兼利さんの生き方について話し合う。 COMMUNICATE +①店で外国人客に対応するとき(対話練習) COMMUNICATE +②町で外国人に道案内するとき(聞き取り練習・対話)	学年末考査	○	○	○
学習の方法 予習・復習 ノート等			(1)授業の進め方は、教科書を用いながら基礎的・基本的事項の理解及び定着に重点を置く。 (2)必要な教材(教科書・ノート・ファイル・辞書・単語帳)を準備して授業に臨む。 (3)授業中は言語活動等に積極的に参加する。 (4)授業中は、先生の指示に従い、説明等をノートやプリントに記入する。 (5)週末課題への取り組みを徹底する。また、復習プリント等を活用し基礎的な力を身につける。					
評価方法			(1) 知識・技能(授業・学習課題・言語活動への取組、パフォーマンステスト・定期考査等) (2) 思考・判断・表現(授業・学習課題・言語活動への取組、パフォーマンステスト・定期考査等) (3) 主体的に学習に取り組む態度(授業・学習課題・言語活動への取組、ノートやレポート等における記述、授業中の発言、パフォーマンステスト・定期考査等) 単元ごとに、到達度に応じて(1)～(3)にA, B, Cの評価を行なう。 A(十分満足できる) B(おおむね満足できる) C(努力を要する)					
備考欄								

教 科	外国語(英語)	科 目 名	英語コミュニケーションⅠ		
-----	---------	-------	--------------	--	--

知識・技能	到達目標	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。			
	場 面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	定期考查	定期考查	授業の内容を十分理解している。	授業の内容を概ね理解している。	授業の内容を理解していない。
	授業	小テスト	十分に理解している。	概ね理解している。	理解していない。
	授業	ワークブック	きちんとワークブックに記入、解答できており、間違いの修正や書き直しもなされている。	一部空欄はあるが、ワークブックに記入、解答できている。	大部分が空欄か、提出ができていない。
	授業	パフォーマンステスト	簡単で正しい英語にまとめ、相手に伝えることができる。	概ね相手に伝えることができる。	Bを満たしていない。
思考・判断・表現	到達目標	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。			
	場 面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	定期考查	定期考查	自分の考えを記せ、英語を正確に用いて表現できている。	自分の考えを記したり、英語を概ね正確に用いて表現できている。	自分の考えを記したり、表現ができていない。
	授業	ノート	工夫しながら授業内容を記し、間違いの修正や書き直しもされている。	授業内容を記している。	空欄が多く、授業内容を記せていない。
	授業	ワークブック	自分の考えを深く記せ、内容に工夫をして表現している。	自分の考えを記したり表現ができている。	自分の考えを記したり表現ができていない。
	授業	英作文レポート	自分の考えを深く記せ、表現豊かに記せている。	自分の考えを記したり、表現ができている。	自分の考えを記したり、表現ができていない。
主体的に学習に取り組む態度	到達目標	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、自主的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力などを身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。 ・粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。			
	場 面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	授業	ノート	板書事項をきちんと探し、自分なりに工夫を加えながら分かりやすく整理し、まとめている。	板書事項を写している。	板書事項を写していない。
	授業	振り返りシート	単元の学習内容を振り返り、改善点を見いだしている。	単元の学習内容を振り返りできている。	単元の学習内容を振り返りができていない。
	提出物	課題提出物	完全に提出ができ、内容もきちんと記せている。	提出ができ、内容も概ね記されている。	提出ができない。内容が記されていない。
	授業	発表	発表内容を自らのものと捉え、答えを導こうと努力している。	発表内容を自らのものと捉えられている。	発表内容を自身のものと捉えられていない。
	授業	行動観察	授業に根気強く真摯に臨もうとする意欲や姿勢が常に見られる。	授業に根気強く真摯に臨もうとする意欲や姿勢が見られる。	根気強く真摯に授業へ取り組む姿勢や意欲を欠いている。
	授業	パフォーマンステスト	聞き手を意識しながら、相手に分かるようにジェスチャーなども加えて詳しく話そうとしている。	相手に伝わるように話そうとしている。	Bを満たしていない。

鹿児島県立福山高等学校普通科・商業科		教科 科目名	家庭 家庭総合	履修学年 単位数	2学年 2単位	評価の観点 思考・判断・表現			
学習の目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技能を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。								
教材	使用教科書：大修館書店〔家総705〕 「Creative Living『家庭総合』で生活をつくろう」								
	4月	はじめに 第1章 生活のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭総合」をなぜ学ぶのか理解する。 ・様々な生き方があることを理解する。 ・生涯を見通した生活課題と意思決定の重要性を理解する。 ・生活資源を活用し、生活設計を工夫する。 			○ ○ ○			
	5月	第2章 青年期の課題と自立	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の発達課題を達成するための生きかたを考える。 			○ ○ ○			
	6月	第9章 食生活のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活を取り巻く課題、食と人との関わりについて理解する。 ・自己と家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 ・栄養の特徴、食品の栄養的特質について理解する。 			○ ○ ○			
	7月								
	9月	第9章 食生活のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養の特徴、食品の栄養的特質について理解する。 ・食の安全と衛生について理解する。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について科学的に理解する。 ・日本と世界の食文化などについて理解する。 ・健康や環境に配慮した食生活について理解する。 ・日本の食文化の継承・創造について考える。 			○ ○ ○			
	10月								
	11月								
	12月	第8章 経済生活のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や責任ある消費の重要性について理解し、生活情報の収集・整理が適切にできる。 			○ ○ ○			
	1月	第8章 経済生活のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者問題や消費者の自立と支援、契約的重要性や消費者保護の仕組みについて理解を深める。 			○ ○ ○			
	2月	第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の心身の発達と生活、子供の遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援について理解を深める。 ・子供との適切な関わり方を工夫し、子供の発達に応じて適切に関わるための技能を身に付ける。 			○ ○ ○			
	3月								
学習の方法	(1) 説明事項や板書は、必ずワークシートに丁寧に記入しまとめましょう。適宜、提出を求めます。 (2) 発表や実習等などの活動には、積極的に参加しましょう。 (3) 発問に対し意欲的に考え、聞き手に分かりやすく伝わるように努めましょう。 (4) 小単元毎に授業の振り返りを行い、次の授業へ生かします。 (5) 提出物は、必ず期限内に提出しましょう。								
予習・復習 ノート等									
評価方法	(1) 知識・技能(定期考査、小テスト、実習・実験等) (2) 思考・判断・表現(定期考査、ワークシート、レポート作成、発表、実習・実験、作品製作等) (3) 主体的に学習に取り組む態度(授業や課題に取り組む態度、振り返りシートの記述、教師による行動観察、授業中の発言、自己評価や相対評価等の状況等) 単元ごとに、到達度に応じて(1)～(3)にA、B、Cの評価を行います。 A(十分満足できる) B(おおむね満足できる) C(努力を要する)								
備考欄	・調理実習は、エプロン・三角巾を忘れずに持参してください。								

教 科	家庭	科 目 名	家庭総合		
知識・技能	到達目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な知識と技能を身につけている。			
	場 面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	事実的な知識の習得	・小テスト ・定期考査	授業の内容を正しく理解している	授業の内容をおおむね理解している	あまり理解していない
	知識の概念的な理解	・定期考査 ・ワークシート記述	学んだ知識や技能を用い自分の言葉で記述している	学んだ知識や技能を用い記述している	学んだ知識や技能を用い記述できない
思考・判断・表現	到達目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現を工夫するなど、生活を創造する能力を身につけている。			
	場 面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	課題を設定する	・定期考査 ・ワークシート記述 ・グループでの話し合い ・作品の制作や表現 ・自己評価や相互評価	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定している	生活の中から問題を見いだして課題を設定している	生活の中から問題を見いだして課題を設定できていない
	解決方法を検討し、計画、立案する		生活課題について多角的に捉え、実践に向けた計画を考え工夫している	実践に向けた計画を考え工夫している	実践に向けた計画を考え工夫できていない
	実践した結果を評価・改善する		問題点や改善策を具体的に記述し、評価・改善している	問題点や改善策を記述し、評価・改善している	問題点や改善策を記述し、評価・改善していない
	論理的に表現する		考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している	考察し表現している	考察し表現できていない
主体的に学習に取り組む態度	到達目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。			
	場 面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	粘り強い取組を行おうとする	・ワークシートの記述 ・自己評価、相互評価 ・振り返りシート	課題の解決に向けて見通しを持ち、粘り強く取り組んでいる	課題の解決に向けて見通しを持ち、粘り強く取り組もうとしている	課題の解決に向けて見通しを持ち、粘り強く取り組り組むことができない
	自らの学習を調整しようとする	学習内容について具体的に記述があり、次の学びにつながる振り返りができる	感想部分にある程度の記述があり、振り返りができる	見通しが持てず、感想もあまり記述できなかつた	
	実践しようとする態度	・授業中の発言 ・教師による行動観察	発問に対して意欲的に考え、聞き手を納得させる根拠を持った発言をしている	発問に対して意欲的に考え、発言をしている	発問に対して考え、自分の意見を持つどうしない
			学習に主体的に参加し、理解につなげている	学習に参加し、理解につなげようとしている	学習への取り組みが物足りず、理解しようという姿勢が乏しい

【 2024 年度「マーケティング」評価基準】

評価基準	A	B	C
評価内容	<p>それぞれの評価を点数化して 70 点以上を獲得した場合に、「学力に対して十分に満足できるレベル」に達していると判断し「評価 A」を付与する。</p>	<p>それぞれの評価を点数化して 69 点以下 30 点以上であった場合に、「学力に対して概ね満足できるレベル」に達していると判断し「評価 B」を付与する。</p>	<p>それぞれの評価を点数化して 29 点以下 0 点以上であった場合に、学力に対して「努力を必要とする状況」と判断し「評価 C」を付与する。</p>
知識 技能	<p>第1章「マーケティングの概要」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングの歴史的な発展を理解したか。 ・現代市場のマーケティングの特性を理解して、優れたマーケティング条件を選べるか。 ・S W O T 分析や V R I O 分析など内的なマーケティング環境に合わせた分析ができるか。 ・P E S T 分析やファイブ・フォーシズ分析など外的なマーケティング環境に合わせた分析ができるか。 ・マーケティングマネジメントの需要生を理解しマネジメントのプロセスを実行できるか。 <p>第2章「消費者行動の理解」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者の行動を理解し、購買意思決定までの動きを理解できたか。 ・購買意思決定における過程を理解したか。 ・消費者行動に影響を与える要因について理解をしたか。 <p>第3章「市場調査」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場調査の重要性を理解した上で、定量的なマーケット分析ができるか。 ・市場調査の重要性を理解した上で、定性的なマーケット分析ができるか。 ・市場調査の種類を理解し、適切な分析手法を選べるか。 <p>第4章「S T P」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングにおける S (セグメント) T (ターゲティング) P (ポジショニング) の重要性を理解し、それぞれの概要を理解できたか。 ・セグメンテーションをするための変数および有効になる条件を理解したか。 ・ターゲティングをするための変数および有効になる条件を理解したか。 ・ポジショニングをするための変数および有効になる条件を理解したか。 <p>第5章「製品政策」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品政策の目的を理解したか。 ・新規商品開発のプロセスを理解したか。 ・有効な販売計画と生産計画を立てることができるか。 ・ブランド価値の創造ができるか。 <p>第6章「価格政策」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・価格政策の目的を理解したか。 ・顧客志向の商品開発と価格設定の関係性を理解したか。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・有効かつ適切な価格設定ができるか。 ・新しいマーケットにおける価格設定の変化を理解したか。 ・キャッシュレス決済における価格政策の動向を理解したか。 <p>第7章「チャネル政策」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接流通と間接流通の違いを理解したか。 ・市場における流通の機能を理解したか。 ・チャネルの管理を理解したか。 ・ＩＣＴの発展によるチャネル政策の動向を理解したか。 <p>第8章「プロモーション政策」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場調査やＳＴＰから生まれるプロモーション政策の重要性を理解したか。 ・プロモーションの種類を理解したか。 ・効果的なプロモーションの方法を理解したか。 ・販売員活動の重要性を理解したか。 <p>第9章「マーケティングのひろがり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場や顧客に合ったマーケティング戦略の必要性を理解したか。
思 考 判 断 表 現	<p>第1章「マーケティングの概要」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング分析を実際にやってみながら、マーケティングマネジメントができるようになっているのか。 ・協働活動をしながら、マーケティング課題に対して必要なマネジメンを考察できているか。 <p>第2章「消費者行動の理解」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顧客の立場になった消費者行動を意識して販売の意思決定をできたか。 ・消費者行動の要因を自ら考え設定できたか。 <p>第3章「市場調査」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リアルなデータによる定量的分析をして、マーケティング戦略を策定できたか。 ・アンケートなどの定性分析から、顧客の意思を確認したマーケティング戦略を策定できたか。 <p>第4章「ＳＴＰ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の商品を例にして、より多様なセグメントすることができたか。 ・セグメンテーションを通じて、より正確なターゲティングをすることができたか。 ・ポジショニングマップを利用しながら創造性のあるポジショニングを実現できたか。 <p>第5章「製品政策」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングマイオピアに陥らず顧客志向の製品を創造できたか。 ・ニーズとウォンツを区別した商品開発ができているか。 <p>第6章「価格政策」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ＰＳＭ分析などの実習を通して、適切な価格設定の判断ができているか。 ・サブスクリプションやダイナミックプライシングなどの新しい時代の価格政策を自ら調べ、どのような販売形態に適用できるか判断できているか。 <p>第7章「チャネル政策」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品形態によるチャネルを見極め、正しい流通経路を選択できているか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・現代市場のチャネル政策の動向を自ら調べ、最新のチャネル政策の情報を取得したか。 <p>第8章「プロモーション政策」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売員活動の実習を通して、効果を実証しながら学べているか。 ・市場調査から商品開発をしながら、効果的なプロモーション活動ができたか。 ・データから適切なプロモーション活動を選択できるか。 <p>第9章「マーケティングのひろがり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら現代社会のマーケティングの変化を調べて、その重要性に気付いているか。
主体的に学習に取り組む態度	<p>【リテラシー要素】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①コミュニケーションリテラシー ②ロジカルシンキングリテラシー ③シュミレーションリテラシー ④ロールプレイリテラシー ⑤プレゼンテーションリテラシー </div> <p>※これらのスキル獲得のために、自ら調整しようと努力をしているか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> これらの調整が上手くいかない場合は、適切なフィードバックを実施し、担当職員が積極的な介入をして支援をする。 </div> <p>②自らの学習を調整しようとするとする側面</p> <p>「十分満足できる」状況(A)</p> <p>「おおむね満足できる」状況(B)</p> <p>「努力を要する」状況(C)</p> <p>①粘り強い取組を行おうとする側面</p> <p>【コンピテンシー要素】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「成果物への取り組み」 各章の学びに対して、実社会のリアルなビジネス課題解決を実施する。 ※ 成果でなくプロセスを評価する。 </div>

教 科	商業	科 目 名	財務会計 I
-----	----	-------	--------

知識・技能	到達目標	財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。			
	場 面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	板書事項	ノート	内容を写し、自分なりにまとえることができた	内容を概ね写すことができた。	板書事項を写すことが不完全である
	授業の内容	小テスト 定期考查	授業の内容を正しく理解できた	授業の内容をおおむね理解できた	内容が理解できなかつた
	演習の手順	レポート	必要な資料・データを取り込み数式などを立てられた	必要な資料・データの意味を理解できた。	必要な資料・データの意味を理解しなかつた。
	演習結果の記録	レポート	演習結果を記録し、考察したことを整理できる	演習結果を記録できた	結果通りの記録がおこなえなかつた
思考・判断・表現	到達目標	企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。			
	場 面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	授業の目的	ノート 発表 小テスト 定期考查	授業の目的を理解し、それを発表できる	授業の目的を理解できた	全く理解できなかつた
	課題や仮説の設定	レポート 発表	課題や仮説を設定し、発表できる	課題や仮説を設定できる	課題や仮説を設定できない
	演習結果の考察	レポート 発表	演習結果の考察を行い、さらに法則へと導くことができる	演習結果を考察できた	結果通りの考察がおこなえなかつた。
主体的に学習に取り組む態度	到達目標	会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
	場 面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	授業の内容から疑問に思うこと、その答え	ノート	授業で詳しく扱わなかつた内容に関して触れ、自分なりに確認し、図表についていた	授業で扱った内容を分かりやすく図表で表現していた	特に独自性はなかつた
	心がけたいことと授業の振り返り	レポート 振り返りシート	次回以降心がけたいことを今回の反省をもとに考えることができた	今回の授業の振り返りができた	振り返りが不十分である
	グループ学習	ノート レポート 発表	他人の立場に立って自分の発表、他の人の発表を総合的にレポートのまとめた	発表、他の人の意見を概ね聞いて意見を述べていた	自他の発表等において積極的に参加しなかつた

教 科	商業	科 目 名	情報処理		
到達目標		企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。			
知識・技能	場 面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	板書事項	ノート	内容を写し、自分なりにまとえることができた	内容を写すことができた	全く板書事項を写さなかつた(欠席を含む)
	授業の内容	小テスト 定期考查	授業の内容を正しく理解できた	授業の内容をおおむね理解できた	全く理解できなかつた
	実習の手順	レポート	手順をフローチャートや絵などでまとめることができた	手順をおおむね理解できた	全く理解できなかつた
	実習結果の記録	レポート	実習結果を記録し、考察したことを整理できる	実習結果を記録できた	全く記録しなかつた
思考・判断・表現	場 面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	到達目標	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。			
	授業の目的	ノート 発表 小テスト 定期考查	授業の目的を理解し、それを発表できる	授業の目的を理解できた	全く理解できなかつた
	課題や仮説の設定	レポート 発表	課題や仮説を設定し、発表できる	課題や仮説を設定できる	課題や仮説を設定できない
	実習結果の考察	レポート 発表	実習結果の考察を行い、さらに法則へと導くことができる	実習結果を考察できた	全く考察できなかつた
主体的に学習に取り組む態度	場 面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	到達目標	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
	授業の内容から疑問に思うこと、それの答え	ノート	授業で詳しく扱わなかつた内容に関して触れ、自分なりに確認し、図表についていた	授業で扱った内容を分かりやすく図表で表現していた	特に独自性はなかつた
	心がけたいことと授業の振り返り	レポート 振り返りシート	次回以降心がけたいことを今回の反省をもとに考えることができる	今回の授業の振り返りができた	振り返りが不十分である
	グループ学習	ノート レポート 発表	積極的に活動した	意見を聞くことができた	活動に参加しなかつた

鹿児島県立 福山高等学校 商業科		教科 科目名	商業 ソフトウェア活用	履修学年 単位数	2学年 4単位	評価の観点 考 查 範 囲	知 識 ・ 思 考 ・ 判 断 ・ 技 能 ・ 表 現	主体的に学習に取り組む態度			
学習の目標		商業の見方・考え方を働きかせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通じて、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を育成することを目指す。									
教材		使用教科書 実教出版株式会社 ソフトウェア活用 補助教材等 それぞれの単元で適宜必要な資料を加えることがある									
学習の内容	1学期	4月	1章 企業活動とソフトウェア活用 1節 ビジネスにおけるソフトウェアの活用・ソフトウェアの意義と重要性を理解する。 2節 ビジネスにおけるソフトウェアの進化・社会で利用されているソフトウェアの実例の重要性	2章 情報通信ネットワークの活用を理解する。	1学期中間	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
		5月	1節 情報通信ネットワークの導入と運用・ソフトウェアの進化が、社会の変化に与える影響を 2節 情報資産の保護 考え、関連する知識を身に付ける。 ・Society5.0について考察し、ソフトウェアの活用例と目的を理解する。	1学期期末	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
		6月	3章 表計算ソフトウェアの活用 1節 表計算ソフトウェアを用いた・表計算ソフトウェアを通して、分析結果を適切に情報の集計と分析表現する能力を身に付ける。 2節 表計算ソフトウェアを用いた・オペレーションズ・リサーチの基礎を理解し、オペレーションズ・リサーチ 適切な手法を活用する技術を身に付ける。	1学期期末	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
		7月	3節 手続きの自動化・マクロの記録機能を理解する。	2学期中間	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
		9月	4章 データベースソフトウェアの活用 1節 ビジネスとデータベース・データベースの特徴や基本的な機能を理解する。 2節 データベースの作成と操作・活用するための知識と技術について理解する。	2学期期末	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
	2学期	10月	3節 手続きの自動化・フォームを用い、手続きを登録する方法を理解する。 4節 データベースの構造・構造を理解し、表を正規化するための手順を理解する。 5節 SQLの操作・SQLを用いたデータベースの操作方法について理解する。	2学期期末	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
		11月	5章 業務処理用ソフトウェアの活用 1節 グループウェアの活用・利点と、活用した業務を行う方法について理解する。 2節 売店管理ソフトウェアの活用・利点と、活用した業務を行う方法について理解する。	2学期期末	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
		12月	3節 給与計算ソフトウェアの活用・利点と、活用した業務を行う方法について理解する。	学年末	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
		1月	6章 情報システムの開発 1節 システム開発の基礎・情報システムの基礎的な知識、技術について理解する	学年末	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
評価方法	予習・復習 ノート等	2月	2節 アルゴリズムの基礎・基礎的な技術や、必要な関連する知識、技術を身に付ける。	学年末	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
		3月	3節 情報システムの開発演習・簡易なシステムの開発を通して、改善を科学的な根拠に基づいて、主体的かつ協働的に取り組む姿勢を身に付ける。	学年末	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
		(1) 板書事項をノートにとり、自分なりにまとめましょう。 (2) 授業の目的をしっかりと理解し、疑問に思ったことはメモをしたり、質問したりしましょう。 (3) 科目の特性上、情報機器の適切な扱い方を習得しましょう。 (4) 提出物は期限を守り、必ず提出しましょう。 (5) 発問への解答や発表、実習などに積極的に取り組みましょう。 (6) 授業を振り返り、次回へいかしましょう。									
		(1) 知識・技能(授業態度、学習課題・実習への取組、考查等) (2) 思考・判断・表現(授業態度、学習課題・実習への取組、考查等)									
		(3) 主体的に学習に取り組む態度(授業態度、学習課題・実習への取組、考查等)									
		単元ごとに、到達度に応じて(1)～(3)にA、B、Cの評価を行います。									
		A(十分満足できる) B(おおむね満足できる) C(努力を要する)									
備考欄		・通信機器やソーシャルメディアを使用する際、情報モラルを厳守してください。 ・日頃からニュースなどに触れ、時事問題に関心を持つようにしましょう。									

教 科	商業	科 目 名	ソフトウェア活用		
到達目標		企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。			
知識・技能	場 面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	板書事項	ノート	内容を写し、自分なりにまとえることができた	内容を写すことができた	全く板書事項を写さなかつた(欠席を含む)
	授業の内容	小テスト 定期考查	授業の内容を正しく理解できた	授業の内容をおおむね理解できた	全く理解できなかつた
	実習の手順	レポート	手順をフローチャートや絵などでまとめることができた	手順をおおむね理解できた	全く理解できなかつた
思考・判断・表現	実習結果の記録	レポート	実習結果を記録し、考察したことを整理できる	実習結果を記録できた	全く記録しなかつた
	到達目標	企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。			
	場 面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
	授業の目的	ノート 発表 小テスト 定期考查	授業の目的を理解し、それを発表できる	授業の目的を理解できた	全く理解できなかつた
主体的に学習に取り組む態度	課題や仮説の設定	レポート 発表	課題や仮説を設定し、発表できる	課題や仮説を設定できる	課題や仮説を設定できない
	実習結果の考察	レポート 発表	実習結果の考察を行い、さらに法則へと導くことができる	実習結果を考察できた	全く考察できなかつた
	到達目標	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
	場 面	評価方法	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
主体的に学習に取り組む態度	授業の内容から疑問に思うこと、それの答え	ノート	授業で詳しく扱わなかつた内容に関して触れ、自分なりに確認し、図表にしていた	授業で扱った内容を分かりやすく図表で表現していた	特に独自性はなかつた
	心がけたいことと授業の振り返り	レポート 振り返りシート	次回以降心がけたいことを今回の反省をもとに考えることができる	今回の授業の振り返りができた	振り返りが不十分である
	グループ学習	ノート レポート 発表	積極的に活動した	意見を聞くことができた	活動に参加しなかつた

月	日	大学生	時数	2年生「福山みらい創造塾」(内容)
1	4 17		1	アイスブレイク・教員から探究的な自己紹介・小瀬さんより
			1	テーマ設定・グループ編成
2	5 1		1	リーダー決め・今後の確認・1年生へのレクチャー準備・ICT活用
			1	プロジェクト案発表準備（スライド・プロセス図・ガントチャート）
3	5 8		1	
	○		1	アイスブレイク・大学生からロールモデルの提示・グループディスカッション「テーマ：わくわくする地域の未来を創るためのアクションプラン」
4	5 15		1	
	○		1	テーマ設定（課題の精査・スケジュール立案）グループ活動
5	6 5		1	
	○		1	テーマ設定（課題の精査・スケジュール立案）グループ活動
6	6 12		1	
			1	
7	6 19		1	アクションプラン（課題解決の仮説検証と行動）グループ活動
	○		1	アクションプラン（課題解決の仮説検証と行動）グループ活動
8	7 3	△ L1/国2/社2	2	職場体験のため休講
	△		2	職場体験のため休講
9	7 10		1	
	○		1	
10	7 17		1	
	○		1	
夏季休暇（マイプロジェクトの夏休みアクションプランを実行）				
11	9 4	○	2	
		○	3	
12	9 11		1	
	○		1	行動と実績・効果確認・問題解析と分析・対策プラン
13	9 18		1	中間発表準備（行動と実績・効果確認・問題解析と分析・対策プラン）
	○		1	中間発表準備（行動と実績・効果確認・問題解析と分析・対策プラン）
14	9 25		1	中間発表準備（行動と実績・効果確認・問題解析と分析・対策プラン）
	○		1	中間発表準備（行動と実績・効果確認・問題解析と分析・対策プラン）
15	10 2	△	1	
		△	2	
16	10 16		1	
	○		1	
17	10 23		1	
	○		1	行動と実績・効果確認・問題解析と分析・対策プラン
18	10 30		1	
	○		1	行動と実績・効果確認・問題解析と分析・対策プラン
19	11 13		1	行動と実績・効果確認・問題解析と分析・対策プラン
	△		2	行動と実績・効果確認・問題解析と分析・対策プラン
20	11 20	L1/社2	1	行動と実績・効果確認・問題解析と分析・対策プラン
		△	1	行動と実績・効果確認・問題解析と分析・対策プラン
21	12 4	△ L1/社3	3	修学旅行（休講）
		△	3	修学旅行（休講）
22	12 11		1	行動と実績・効果確認・問題解析と分析・対策プラン
	○		1	
23	12 18		1	行動と実績・効果確認・問題解析と分析・対策プラン
	○		1	
24	1 15	△	1	
		△	2	
25	1 22		1	
		△	1	
26	1 29	△	1	
		△	3	
27	2 5		1	
	○		1	
28	2 19	△	1	
		△	2	
29	2 26	△	1	
		△	2	
30	3 19		1	
	△		1	

コミュニケーションリテラシー			ロジカルシンキングリテラシー	シミュレーションリテラシー	ロールプレリテラシー
記入例	2年	山田 太郎	3	5	1
5 極めて高いレベル 4 十分満足できるレベル 3 満足できるレベル 2 努力を必要とするレベル 1 極めて低いレベル 異なる考え方を持つ他者と交流しながら成長させる。	常識や前例に捉われず、柔軟かつ論理的に考え方を整理する。	課題解決のモデルを描き、試行錯誤しながら類推できる。	誤しながら相手の立場になり、その考え方や想いを一緒に理解する。		

プレゼンテーションリテラシー			ICT活用スキル	思考・判断・表現	郷土への愛着
記入例	2年	山田 太郎	4	1	5
5 極めて高いレベル 4 十分満足できるレベル 3 満足できるレベル 2 努力を必要とするレベル 1 極めて低いレベル アイデアを共有するための表現ができるようになる。	ソフトウェアの利活用 データ処理の能力	知能技能によって、プロジェクトを推進したりするなど 「心の故郷」に対する ・アイデンティティによる活動 ・産官学連携による活動 のアウトプットの成果			

主体的に学習に取り組む態度			自ら挑戦しようとする精神	主体性（自主性との区別）	キャラリア意識
記入例	2年	山田 太郎	5	2	3
5 極めて高いレベル 4 十分満足できるレベル 3 満足できるレベル 2 努力を必要とするレベル 1 極めて低いレベル 5. 何かに挑戦し、成功した者 4. 何かに挑戦し、失敗した者 3. 自ら挑戦しなかつたが、挑戦した人の手助けをした者 2. 何もしなかつた者 1. 何ちせず、批判だけしている者	主體性→自己による意思決定 主體性→自己責任 主體性→他社による意思決定 主體性→他者責任	自らウェルビーイング を意識した進路意識を持ち、プロジェクトに反映できているか。			

			担当職員
5・・・・・極めて高いレベル 4・・・・十分満足できるレベル 3・・・・満足できるレベル 2・・・・努力を必要とするレベル 1・・・・・極めて低いレベル			左の3種類別の評価基準に対して、活動の中で特に注目できることを具体的に記入して下さい。 (生徒の特徴や伸びなどうなごろなどを3観点評価に照らし合わせてコメントを書く) ※主体を生徒としてコメントを書く。 (論理的思考やICTスキルに対するサポートが必要である。基本的にPC操作スキルが身についておらず、定量的な分析ができず、感想を述べるなどのアウトプットになっている。
記入例	2年	山田 太郎	

			コメント
			メンター
5・・・・・極めて高いレベル 4・・・・十分満足できるレベル 3・・・・満足できるレベル 2・・・・努力を必要とするレベル 1・・・・・極めて低いレベル			メンタリング活動の中で、職員へ生徒のサポートに対する気づきがあれば記入して下さい。
記入例	2年	山田 太郎	自分の意見を言いたいのに、周りの生徒の発言が多く積極的に発言出来ていなかったので、次回の授業で活躍の場を与えてあげる良いと思います。

			アドバイザー（コラボ先からのアドバイスや意見があれば職員が記入）
5・・・・・極めて高いレベル 4・・・・十分満足できるレベル 3・・・・満足できるレベル 2・・・・努力を必要とするレベル 1・・・・・極めて低いレベル			
記入例	2年	山田 太郎	コラボ先の〇〇会社から、空間デザインのために〇〇について連絡を取りたいそ�である。 日までにSlackかメールで連絡を取れりそ�である。

特別活動 年間指導計画 2年

目 標	評 価	よりよい生活を築くための知識・技能 集団生活の形成者としての思考・表現 主体的に協力して活動しようとする態度
学級活動	学級活動を通して、柔軟に新しい考えを取り入れ、創造性を備えた豊かな人間性を育てる。	
生徒会活動	異なる考え方を持つ他者と交流し、計画を立て、協力して活動できる態度を育てる。	
学校行事	学校全体や学年活動を通して、集団への所属意識を高め、人間関係のあるべき姿を踏まえて、自律することによって他との協調を図り、礼節をもつて接する態度を育てる。	

学年	目標	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月			
		達成度	評価	達成度	評価	達成度	評価	達成度	評価	達成度	評価	達成度	評価	達成度	評価	達成度	評価	達成度	評価	達成度	評価	達成度	評価	達成度	評価		
学級活動	年間目標と計画	心理検査	実施	前半の振り返り	文化祭	修学旅行に向けて	実施	前半の振り返り	文化祭	修学旅行に向け	実施	前半の振り返り	文化祭	修学旅行	実施	前半の振り返り	文化祭	修学旅行	実施	前半の振り返り	文化祭	修学旅行	実施	前半の振り返り	文化祭	修学旅行	実施
生徒会活動	いじめ問題	対面式	実施	いじめ問題	実施	いじめ問題	実施	いじめ問題	実施	いじめ問題	実施	いじめ問題	実施	いじめ問題	実施	いじめ問題	実施	いじめ問題	実施	いじめ問題	実施	いじめ問題	実施	いじめ問題	実施	いじめ問題	実施
委員会活動	委員会活動	委員会活動	実施	委員会活動	実施	委員会活動	実施	委員会活動	実施	委員会活動	実施	委員会活動	実施	委員会活動	実施	委員会活動	実施	委員会活動	実施	委員会活動	実施	委員会活動	実施	委員会活動	実施	委員会活動	実施
学校行事	(入学式)	体育祭	実施	ことばの勉強会	実施	中学生体験入学	実施	文化祭	実施	修学旅行	実施	卒論大会	実施	職業ガイダンス	実施	就職ガイダンス	実施	卒業式	実施	かご事しごとフェア	実施	花文字清掃活動	実施	かご事しごとフェア	実施	花文字清掃活動	実施